



- 国際会長主題：輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen (デンマーク)
- アジア太平洋地域会長主題：新しい時代とともに、エレガントに変化を Chen Ming Che (台湾)
- 東日本区理事主題：未来に向けて今すぐ行動しよう 佐藤 重良 (甲府 21)
- あずさ部長主題：ワイズへの参加と交流を楽しもう 後藤 明久 (富士五湖)
- 甲府やまなみクラブ会長主題：準備を整えよう！ 藤原 一正

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2023年 6月
No.9

●今月の強調目標
YMCA サポート
歴史・振り返り

●今月のことば

「Think Globally Act Locally」

藤原 一正 君選

今月の例会案内 (第9回)

- 第26回東日本区大会振替え
 - 期日：2023年6月3日(土)・4日(日)
 - 会場：アピオ甲府
 - 主なプログラム
- 〈6月3日〉 13:00～20:30
- ・オープニングセレモニー、バナーセレモニー
 - ・開会点鐘 東日本区理事 佐藤重良
 - ・ワイズソング・ワイズの信条 一 同
 - ・歓迎の挨拶 甲府21クラブ会長 飯田 剛
 - ・来賓祝辞
 - ・メモリアルアワー
 - ・東日本区アワー I 理事・部長・事業主任報告
 - ・記念講演 俳優・石丸謙二郎 様
 - ・ユースアワー 山梨YMCAユース、松本クラブ支援留学生等
 - ・晩餐会
- 〈6月4日〉 9:00～11:40
- ・東日本区アワー II 表彰、理事就任式、理事・役員引継ぎ式
 - ・大会旗引継ぎ
 - ・YMCAの歌 一 同
 - ・閉会点鐘 東日本区理事 佐藤重良

Photo of monthly



5月13日、あずさ部第3回残雪のアルプス評議会にて、左から藤原、仙洞田、米山の各会員(松本市)

今月のことば

藤原 一正 君

グローバルの視座で様々なことをとらえて考え、実際に行動するときには地域の身近なところで実践していこうという考え方です。なかなか世界に目を向けることは難しいかもしれませんが、ウクライナ戦争や世界の情勢などは経済に直結しており、身近な経済活動にもつながってくるがあります。最近の物価高は一時的なものではなく、中長期で続いていくものと思われ、今後はこのような考え方が重要になってくるのではないのでしょうか。

5月のデータ

会員数:12名/例会出席:8名/出席率:67%
 ゲスト:3名(飯室雄大様・小宮山嘉隆様・橋本晶子様)、ユースリーダー:2名(菊池央人君・渡邊結菜さん)

●●●● 5月例会報告 ●●●●

仙洞田安宏

5月10日(水)山梨YMCAにおいて、5月例会が米山書記の司会で開催されました。冒頭の藤原会長の挨拶では、4月に約3週間にわたって仕事を兼ねたタイとその周辺国への旅行について話されました。その中でチェンマイのYMCAを訪問し、ワイズメンズクラブの皆さんとも交流できたことを報告されました。今月の言葉は都合で欠席の三井会員の担当で、亡き母の口癖「あきらめない、にげない、ごまかさない」を米山書記が代読しました。母の日が近かったのでタイムリーでした。

続いて、やまなみクラブにとってはチャーター後初めての入会者である大澤祥子さんへ、ワイズバッジが藤原会長から渡されました。大澤さんについては言うまでもなく、故大澤英二氏(山梨YMCA名誉総主事・前理事長)と共に、山梨YMCAと甲府ワイズメネットを50年以上にわたって支えてこられました。そんな事からご本人の希望もあり“堅苦しい入会式”はせず、バッジとキットを渡し、入会の挨拶をしていただきました。

ワイズディナーは弁当を戴きましたが、その際、チェンマイワイズからの土産で頂戴した「アカ族のY-森のコーヒー」が振る舞われました。



ゲスト卓話は県立青洲高校の英語教諭である、飯室雄大(いむろ たけひろ)様から「青洲高校英語科の取り組み」というテーマで伺いました。飯室様は藤原会長の高校時代の1年後輩ということと、青洲高校英語科の課外活動の趣旨がグローバルフェスタにリンクする事から、昨年も企画を担ってもらいました。卓話は、①日本の英語教育の現状 ②英語科という科目について ③青洲高校英語科の授業づくり ④教室の外に興味がつながるための工夫、の4項目について話されました。紙幅の関係で印象に残った部分を紹介すると、

✓大正、昭和、平成とコミュニケーションツールや社会環境は大きく変わっているのに、教室の授業風景はほとんど同じ、これで良いのか?



- ✓センター試験と共通テストの試験問題を比較
- ✓青洲高校の教育目標は「自ら考える」「つながる」「挑む」「成し遂げる」
- ✓三カ年計画として①fluency(流暢さ) ②accuracy(正確さ) ③convincible(納得する)
- ✓青洲高校の実績として、GTEC(ベネッセが実施している英語4技能検定)で全国平均の3倍の伸びを達成している、等です。大学卒業後、世界をバックパッキングした経歴の熱血教師振りが伝わってきました。私もこんな先生に英語を教わっていたらなあ、と今更ながら今の生徒を羨ましく思いました。

その後、7月8日に開催する「やまなしグローバルフェスタ2023」の打ち合わせを行いました。藤原会長からこれまでに決まったことが説明され皆で共有され、新たな情報が飯室さんや松本さんから披露されました。この日はゲストとして山梨県男女共同参画・外国人活躍推進監の小宮山嘉隆様も出席され、県の後援について指導をいただきました。余談ですが、小宮山様も藤原会長、飯室様と同窓と言うことが判明し、話に花が咲いていました。

諸報告・役員会では、仙洞田から①東日本区大会の件、②チャリティーランの件、③今年度のまとめと次年度計画の件、④今後の予定等を説明しました。卓話も楽しく、また人のつながりを感じた良い例会で、企画した甲斐がありました。

出席者メン:藤原・松本・米山・遠藤(恭)・渡邊・大澤・仙洞田・福田、ゲスト:飯室雄大(卓話者)・小宮山嘉隆・橋本晶子・菊池央人/渡邊結菜(ユースリーダー)



あずさ部第3回「残雪のアルプス評議会」に参加して

米山 俊彦

5月13日は、あいにくの曇り空で、時折、小雨模様の5月中旬とは思えない肌寒い天気となりましたが、松本市で開催されたあずさ部第3回「残雪のアルプス評議会」に、藤原会長、仙洞田さんとともに出席してきました。

当日は、合計41名の議決権者の出席と10名の委任状の届出があり、評議会として成立する旨の報告が司会からありました。全体の出席は58名でした。

今回のホストクラブである松本クラブの大和田会長の歓迎の挨拶の後、議案審議に移りました。

第一号議案として、「2023-2024年度あずさ部部長方針」と第三号議案の「2023-2024年度あずさ部部大会・評議会活動計画」が森本俊子次期部長(長野)から提案があり、全会一致で承認されました。

また、「2023-2024年度あずさ部予算」が第二号議案として倉石美津子次期会計(長野)から提案されるとともに、第四号議案として「あずさ部CS・Yサ事業助成金関係の現行規定の廃止と新規の制定」が、

CS・Yサ事業主査の板村哲也さん(東京武蔵野多摩)から提案され、両議案ともに全会一致で承認されました。ここまでは、順調に審議が進んできましたが、第五号議案の「2025-2026年度あずさ部部長辞退の件」については、関係者の合意を図りながら慎重に検討すべきではないかとの意見があり、継続審議とすることになりました。

この議案は、2025年度からあずさ部部長を務める予定になっている東京西クラブが会員の高齢化を理由に部長就任を辞退したい意向を示した事から提案された議案ですが、高齢化に伴うこうした課題は、今回だけでなく、今後もますます増えていくことが予想され、現役世代の新たな会員の確保が喫緊の課題であることを痛感しました。

議案審議の後は、部長をはじめ各クラブの活動報告等があり、当やまなみクラブは、藤原会長が、各クラブのトリを取る形で、後期活動報告を行いました。

評議会の閉会后は、松本クラブの古畑副会長が代



やまなしグローバルフェスタ 2023

5月17日(水)、Zoomによる実行委員会が開催されました。前回に続き、青洲高校生のデザインでチラシを作成することになりました(右図)。出展団体の確認、補助金獲得についての情報交換も行われました。



表を務めるアカペラバンドの演奏会が行われ、出席者も一緒になって歌う場面などもあり、会場が和やかな雰囲気になりました。

また、その後の卓話では、モンゴルから来日してから30年以上になり、松本市にあるビジネス専門学校の副校長を務めるサラントヤさんの「私の留学人生」と題した講演とビジネス専門学校の若い3人の外国人留学生(モンゴル・ミャンマー・タイ出身)による留学経験や母国の話がありました。

4人の話からは、自分の国の文化に誇りを持っていて大切にしている事とともに、日本人や日本の文化が好きで、日本での勉強を励みながら生活も楽しんでいる感じが感じられました。これからも日本での勉強や経験した事を活かして、日本との交流の懸け橋になってくれることを願っています。

YMCA 「山梨YMCA77年の歴史」

山梨 YMCA 総主事 中田 純子

先月77周年早天祈祷会開催の報告をさせていただきました。77年の歴史を引き継ぐ私たちは、2020年11月12日、大澤英二山梨YMCA第五代総主事召天をきっかけに、この歴史を後世に伝える事の大切さを感じ、2021年10月、第67回理事会にて山梨YMCA史料室開設検討委員会を設置することを決定しました。これまで委員会を重ね、史料展示室のコンセプトが決定しました。単なる資料倉庫としてではなく、山梨YMCAの歩みをたどる歴史的資料を集め、整理し、スタッフをはじめ山梨YMCA会員が有効に活用できる史料展示室として構築すること。また、誰もが集い、YMCA活動を理解でき、くつろげる場の提供です。

委員による日本YMCA同盟史料室、東京YMCA史料室を見学。2021年12月25日、史料室開設準備金として、匿名の方による寄付金が振り込まれたことにより、実現の可能性が開け、倉庫として使用していた建物を改築することになりました。

このことが決定し史料展示室開設作業を進めるに当たって、YMCA史学会の斉藤實理事長に11月12日に山梨に来ていただき、「大澤英二にみるYMCA運動の真髄」と題して、史料展示室開設の意義について講演していただきました事に感謝申し上げます。

多くの方々のお陰で、計画されていた史料室の改築がこの5月末に完成しました。1階に史料室、談話室、2階を活動室とし毎週火曜日に行われる教育心理研究所、その他リーダー会、貸室として皆様にお使いいただけるようになります。

ぜひ一度、山梨YMCAの穏やかに流れる時間と風に触れていただけますよう心よりお待ちしております。

※編集者註 当クラブの仙洞田会員も、委員の一人として携わっています。

行事予定

✓6月8日(木)

やまなしグローバルフェスタ実行委員会(Zoom)

✓6月10日(土)

山梨YMCAチャリティーラン (小瀬スポーツ公園)

✓6月19日(月)

山梨YMCAチャリティーラン反省会

✓6月21日(水)

クラブ役員会(18:30 山梨YMCA)

✓7月8日(土)

やまなしグローバルフェスタ2023(9:00～
7月キックオフ例会(定期総会)

クラブの消長に思う

仙洞田安宏

5月30日(火)19:00から、東日本区の役員会がZoomで開催され出席しました。この中で、今のワイズを象徴するような、クラブの消長に関する議案が幾つか提案されました。

①札幌クラブと札幌北クラブの合併

札幌北クラブはメンバーの減少・高齢化に伴い、クラブとして機能しなくなったため、スポンサークラブの札幌クラブが吸収合併し解散する。札幌北クラブの会員8名のうち約半数はワイズを離れ、残りの半数は札幌クラブに移籍する。合併後の名称は「札幌クラブ」とする。(札幌北は1981年設立)

②東京北クラブの解散

東京北クラブは高齢化が進んだこと等による会員数の減少により、クラブの機能が果たせなくなった。メンバーの健康状態、召天等で現在3名では活動は無理と判断した。(東京北は1981年設立)

③東京多摩みなみクラブ(会員数12名)と東京町田スマイリングクラブ(同6名)の合併

両クラブは2021年7月から東京町田コスモスクラブと3クラブで隔月に合同例会を開催してきた。この経験で、人数が多いと活気、高揚感、充実感も生まれ、ワイズ活動の楽しさを実感でき、結果として3クラブとも会員が増えた。このメリットを活かして充実したクラブ運営をしたい。なお、東京町田コスモスは、独自の活動を優先したいとのことで、合併には加わらない。新クラブの名称は「東京多摩スマイルワイズメンズクラブ」となる。(東京多摩みなみは2016年、東京町田スマイリングは2019年設立)

以上がその概要です。①の場合、実際は札幌北の「解散」なのですが、メンバーの気持ちとしては「合併」という思いが強いようです。札幌北も②の東京北も40年以上の歴史があり、企業30年説ではありませんが、永く続ける事の難しさを感じました。また、③については議案名は「東新部内2クラブの統合」でしたが、ワイズの定款では「統合」という表現はないので、「合併」のほうが適切という指摘がありました。私も後から気がつきましたが、「東新部内2クラブ」でなく、具体的なクラブ名を表記した方が良かったのではないかと思います。

今後もこのような事例は多かれ少なかれ現れるものと思います。時代の変化に対応した柔軟なクラブ運営が求められるのではないのでしょうか。

ハッピーバースデー

メネット
仙洞田克子 (6/12)

アニバーサリー

該当者なし